



こんにちは

# 村田 けい子 です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。フェイスブックやっています。

移動事務所 090-9144-8534

発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267 (56) 2868

2020.11.6

No276

## 佐久食肉センターについて、長野県に要望書

### 11.4 共産党地区委員会として

佐久広域食肉流通センターの今後をめぐって、日本共産党の議員団は何回も会議を開き、今後の対応を協議。長野県、JA佐久浅間、佐久広域連合に要望書を届けることにしました。まず、長野県に要望書を届けました。

長野県農政部園芸畜産課の課長・課長補佐が対応。私も参加し発言。「生産者は、突然の『継続せず、譲渡先が決まらなければ廃止も』の決定に衝撃を受け、不安のただなかにはいます。と殺場が松本、中野などになれば、運送費が増え、生産コストがかさみ、経営の悪化を招く恐れがある。高齢の方はこれを機にやめてしまう人も出るかもしれない。」「乳牛の場合も、事故牛や廃用牛が遠くに運ばれるうちに座り込んだり、死んでしまったりして売り物にならないことも起こるとのこと。ぜひ、佐久地域の処理場を残すよう関係者の調整役として働いてほしい」と要望。園芸畜産課長は「新しい動きがあることを歓迎したい。相談があれば、情報提供など努めます。」と答えました。

11月6日は、JA佐久浅間の畜産センター(立科町)、11日は佐久広域連合に要望書を届け、懇談の予定です。



左から園芸畜産課長・藤岡良英前県議、小林松子佐久市議、村田、中沢睦夫軽井沢町議

#### 【要望の要旨】

- 1、東信地域をはじめとする県内畜産農家を廃業させないために、また「信州蓼科牛」ブランドをなくさないために、さらなるご尽力をお願いしたい。
- 2、畜産関係者への適切な情報提供を行い、今後の在り方について、今後の在り方について佐久広域連合・長野県・JA佐久浅間の3者は、生産者・関係事業者と一緒に解決策を協議されることをお願いしたい。の2項目を要望。

## 「一粒の麦」上映に大勢の参加者



大勢の方に見ていただいた上映会 老人福祉センター

11.3文化の日に映画上映会を開き、会場いっぱいの参加者に鑑賞してもらいました。

思いのほか午前中の参加者が多く、ホール内の四隅の窓とドアを全開。密を避けて対応しました。

多くのアンケートが寄せられ、「良い映画でした」「励まされた」「先人の勇気ある行動が現在につながっている」など感動が語られました。「またやってね」に励まされました。

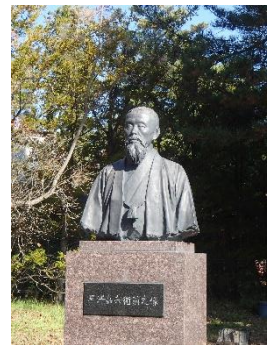
## 八重原用水を完成

JA女性会の企画、「秋の紅葉ウォーキングと美術鑑賞」に参加し、明神池の周りを散策し、梅野美術館で梅野亮の絵画展を堪能しました。

明神池周辺は美しく紅葉し、青空に映えていました。明神池の北側に黒沢嘉平さんの銅像がありました。

蓼科山の樫の木沢から導水して、八重原を見事な水田地帯に生まれ変わらせたそうです。美しい明神池はそのため池だったんですね。明神池の周りを囲む松林の中に、戦争中、軍馬を隠すための豪が掘られ使われたとのことで、平らなところは、馬の集まる場所だったようです。

帰りに、公園の一隅にあるお店で手作りのお焼きを注文。野沢菜と切干、ジャガバターをパクつきました。お店の方が手作りの即席漬を差し入れてくださって、その心遣いにほっこり。参加者とのおしゃべりに花が咲いて、楽しい時間を過ごしました。



今週のパチリ



野党連合政権ができたら志位さんは外務・小池晃議員は防衛大臣にと夢を語り、力を合わせて、政権交代を」と訴える  
武田良介参議院議員

### 【両角町長のごあいさつ】

「町でも台風19号で大きな被害を被ったが、建設業者が減って少なく、また資材が入らず取りつことになっています。いまだに復旧ができていませんが、繰り越し事業も2年目は認められていないので、大変です。

またコロナでは健康命を守ることを一番に取り組んでいますが、日々プレッシャーです。日頃の予防を大切に「新たな生活様式」で取り組んでいますが、収束に向かっておらず、暮らしの中に弊害が起きています。11月1日からあらたな経済対策を打っているが、農業収入の低下、商工業、観光、宿泊、飲食、運輸バス交通など大変です。地方にお金を回してもらうよう、さらなる国の支援が必要。

仮設の土嚢が9割、また流され、資材は不足、建設業が千曲川の改修などに手を取られて、なかなか進まない状況。少子化が進み、7千人を割り込み、現在移住・定住を進めています。若い人がいなくなっています。ぜひこうした問題に取り組んでいただきたい」とあいさつ。

### 【武田議員のフェイスブック 10.31より】

#### 長野県立科町で国政を語る会開催

なんと、両角町長もあいさつに来ていただき、台風19号災害からの農業用施設の復旧、コロナ対応など、町として苦慮されていることについてお話ししていただきました。国が最低限責任を持つべきことがあると指摘され、「武田議員にもぜひ取り組んでいただきたい」と要望いただきました。よくわかりました 頑張ります。

はじめた臨時国会、代表質問の様子を報告、学術会議、コロナ対応、核兵器禁止条約などを紹介しながら、野党連合政権をつくろうとお話ししました。現職の国会議員が立科町で報告会を開くのは初めてということで、最後に写真を。



間をたっぷりとの「語る会」



### 【会場からの質問】

「維新の会の動きをどう見る?」「公明党の役割は」「政党助成金、共産党が断ったら他党が分配。国庫に戻すべきでは」「汚染水の海洋投棄、許せない。石棺で封じこめを。」「浅川ダム、役に立たな

った。防災に力を入れて」「安倍政権は弱者に対し何一つやらなかった。」・・・など、多くの意見・質問が時間いっぱい出て、最後に参加者でパチリ。野党政権ができる可能性に確信を持った集会でした。中野市出身で、若くてどんどん現地に足を運んで鋭い質問をしている武田議員。今後の活躍を期待し、長野県選出の誇れる議員でした。

## 11.15 「地域医療と公立・公的病院を守る県民シンポジウム」

～コロナ禍の今こそ、病院再編ではなく、地域医療の拡充を～

＊13:00-17:00

＊長野バスターミナル会館

講演：「病院リスト公表の問題点と地域医療の課題」川西赤十字病院院長他3病院  
医院もパネリストで参加。

主催：県社会福祉推進協議会

## 日本の「水」「土」「種」は大丈夫？

11.21(土)13:30～ 老人福祉センター

堤 未果講演会「日本の食が売られる」

—子どもたちの未来を守れ—

「日本が売られる」(幻冬舎新書)の著者が立科に。

主催：立科町消費者の会 090-8743-6412